

第60代会長スローガン

一步前へ

感動に感謝

60周年を目前にした更なるウィ・サーブ

金沢東ライオンズクラブ 第60代会長 野村正典



歴史と伝統ある金沢東ライオンズクラブ第60代会長を拝命することとなり、この一年間の責任の重大さを痛感しております。微力ではございますが、その責務を粛々と邁進していく所存であります。

本年度は60周年を目前に、歴代ごとに受け継がれた精神

に基き、さらに一步前へと気概と感謝の念を持って社会奉仕に臨み、地域の皆様や子供たちと共に感動を分かち合いたいと考えております。また会員皆様とともに一所懸命、「和を以って貴しと為す」クラブ運営、発展をと願うところであります。

金沢東ライオンズクラブの会員皆様の益々なるご活躍とご健勝をお祈りしつつ、絶大なるご指導ご鞭撻を賜わります様お願い申し上げます。

6月18日(火)に、いよいよ本年度最後の例会の第1416回年次例会・懇親会が、かなざわ石亭にて開かれました。

例会では、内山会長より、「運命と思って会長をやってみよう」と思い、スタートした1年を振り返ってのご挨拶がありました。2つのことをテーマに1年間の運営をされたとのことでした。

- ① 看脚下 ただし、各アクティビティにはいろんな人の思いがあるので、一旦そのまま実施し、2回の例会を活用し意見交換を行った
- ② 会長の負担を減らそう (いずれ50代の方が会長になれるように)

一年、無事終わることができ、みなさんに感謝の思いを話されました。

名古屋の関連会社に異動し、退会される林昭夫Lから挨拶がありました。「よく分からないまま、入会したが、アクティビティ・宴会と楽しい活動でした。名古屋に来たら、鰻をごちそうするので、是非お声をかけください」とのことでした。



懇親会は、東Lの司会により、桑島Lの開会挨拶・乾杯で幕を開けました。「なぜ WE なのか？」YOUでもTHEYでもなく、「我々」つまり家族も含め、周りを巻き込むという意味が込められているのではないかとご挨拶の後、乾杯のご発声がありました。

アクティビティの優秀参加者表彰では、表彰者を代表して、多田Lが「内山会長のためにがんばった」といつもながら、楽しく思いを語りました。

アトラクションは計画委員会渾身の「ジェスチャークイズ」。3人のうち違うもののジェスチャーをしている1人を当てるというものでした。王貞治、ウルトラマン、そば職人など、大先輩たちも迫真の真剣演技でした。トップは8問全問正解の永野Lでした！！

浦田テールツイスターの最後のクイズは「金沢弁クイズ」でした。うら田さんの和菓子をかけて、大変盛り上がりました。

嶋崎幹事の閉会の挨拶では、「1年間の思い」を語っていただきました。「野村次期会長体制の成功と60周年へ向けて」とロア三声で締めくくりました。

1年を締めくくり、来期へ向けて心を1つにするすばらしい会でした。

